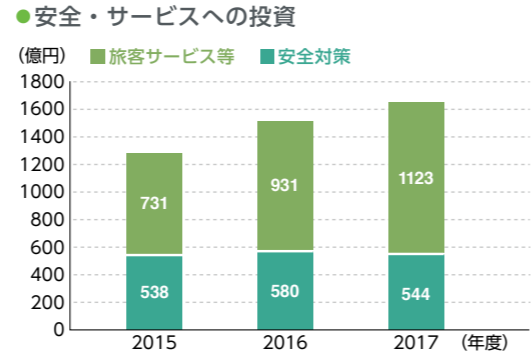


安全設備・輸送改善

様々な設備投資や駅・ホームでの安全対策によって
安全水準の維持・サービス向上に取り組んでいます。

駅・ホームの安全対策



ホームドア

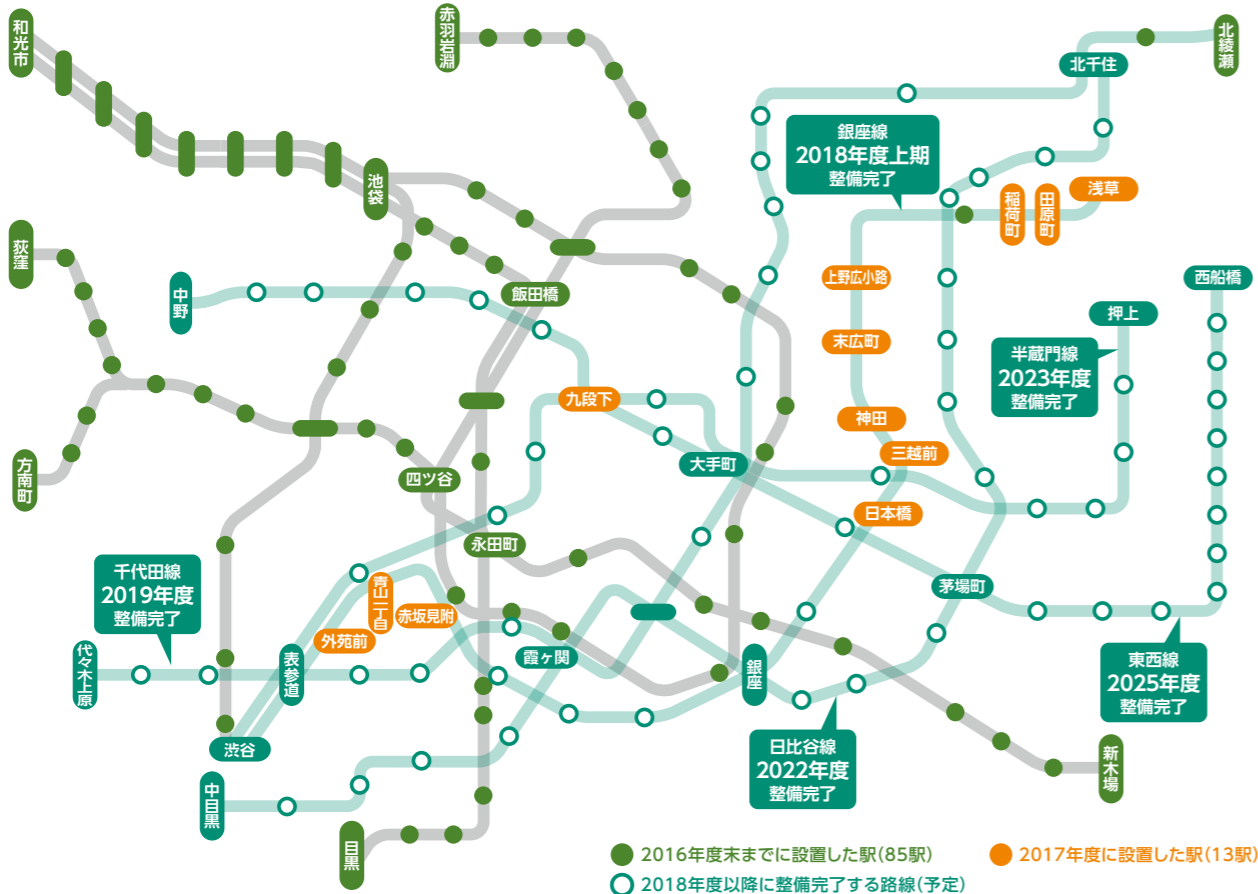
ホームからのお客様の転落、線路内への侵入、列車との接触等を防ぎます。
また、車両のドア位置及び幅が異なる列車が運行される東西線へは大開口ホームドアを設置していきます。



整備率
55%

全179駅中
98駅整備済

ホームドア設置状況



ホーム縁端警告ブロック

視覚障害者の方が線路のある方向を認識しやすいように、ホーム内側方向に内方線があります。



可動ステップ

ホームと車両の隙間を減らす可動ステップの設置を推進しています。ステップは、普段ホームの下に格納され、車両ドア・ホームドアの開閉操作に連動します。



注意喚起シート

ホーム縁端部の歩行が危険であることをお客様にお知らせするとともに、駅係員や車掌の視認性向上を目的として設置しています。



転落検知マット

線路内への転落を検知した場合、非常停止合図器と連動して列車を停止させます。



転落防止ゴムの設置

ホームと車両の隙間を減らすことで線路内への転落を防ぎます。



「見守る目」の強化

目の不自由なおお客様のご利用が特に多い駅において、お客様のご利用情報の共有を迅速に行うためハンズフリー型インカムを導入しています。

また、全駅社員がサービス介助士*の取得に取り組んでいます。

*サービス介助士：お身体の不自由なおお客様等に安心してご利用いただけるような接客やお手伝いができるよう、公益財団法人日本ケアフィット共育機構が指定する研修を受講した者に与えられる資格。



TOPICS

法政大学生によるボランティア活動

飯田橋駅において、法政大学と連携し、「見守る目」を強化することを目的としたボランティア活動を実施しています。



駅と列車の安全

お客様に安心してご利用していただくための管理・整備等を行っています。

総合指令所

総合指令所では、運輸指令、車両指令、電力指令、施設指令の4つの指令と情報担当をワンフロアに配置し、それぞれの情報を共有して一元的な輸送管理を行っています。事故発生時には、関係する列車、駅などに情報を提供し、対策本部と一体となった処置を行います。また、首都直下型地震等に備え、総合指令所の機能・安全性の強化を図りました。



総合指令所

車両や鉄道施設の点検・保守

安全・安定輸送を支えるために、車両や線路、信号設備、電力設備等の鉄道施設を、技術部門が技術基準に基づいて計画的に点検・保守を行い、健全な状態を維持しています。

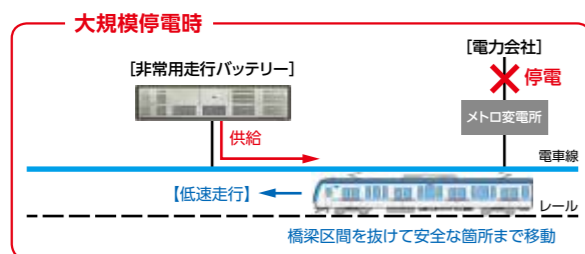
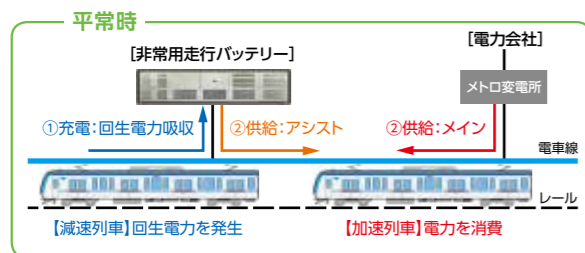


車両点検の様子

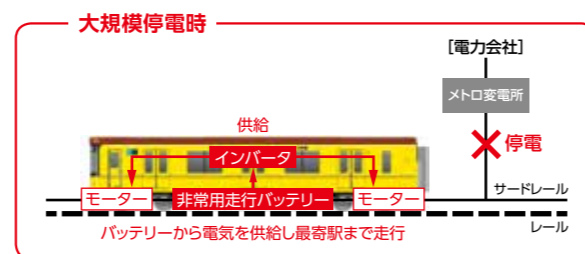
非常用走行バッテリーの整備

大規模停電が発生したときに、駅間に停止した列車を最寄駅まで走行できるようにするため、非常用走行バッテリーを整備しています。東西線等の長大橋りょう区間において、変電所側への非常用走行バッテリーの設置を完了し、運用を開始しているほか、銀座線において、車両に非常用走行バッテリーの搭載を進めています。

●長大橋りょうなど地上に設置する非常用走行バッテリーイメージ



●車両に搭載する非常用走行バッテリーイメージ

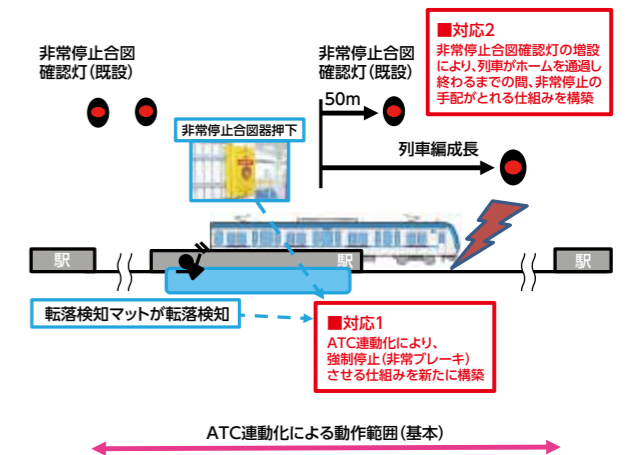


非常停止合図機器のATC連動化

日比谷線、東西線(中野駅除く)、半蔵門線において、非常停止合図器の操作や転落検知マットが検知した場合はATC信号を遮断し、列車を非常停止させるように連動化を行いました。ただし、駅構内で火災が発生した場合の非常停止合図器押下に備えて、ATC信号の遮断時秒は30秒として、一旦停止後すぐに駅通過の取扱いができる仕組みとしています。

また、非常停止合図器のATC連動化が2017年度以降となるホームドア未設置駅では、列車がホームを通過し終わるまでの間、非常停止の手配がとれる仕組みを構築するため、2018年度末を目途に非常停止合図確認灯を増設します。

●非常停止合図機器のATC連動化イメージ



安全設備・輸送改善

安全・安定運行に関わる設備の整備

安全・安定運行に関わる設備に必要な施策を計画的に実施しています。

目的	線別	駅名	具体的施策		
混雑緩和	丸ノ内線	方南町駅	ホーム延伸		
混雑緩和・利便性向上	銀座線	渋谷駅	ホーム移設・拡張等		
遅延防止	銀座線	浅草駅	折返し線整備		
快適性改善	日比谷線	—	新型車両の増備13000系(98両14編成)		
混雑緩和・遅延防止	東西線	茅場町駅	ホーム延伸・拡幅		
		木場駅	ホーム拡幅		
		飯田橋駅～九段下駅間	折返し線整備		
		南砂町駅	線路・ホーム増設		
輸送改善	千代田線	北綾瀬駅	10両化に伴うホーム延伸・出入口新設		
快適性改善	千代田線	—	新型車両の増備16000系(40両4編成)		
震災対策	丸ノ内線	茗荷谷駅～後楽園駅間	地震発生後の早期運行再開に向けた石積み擁壁耐震補強工事		
震災対策	日比谷線 東西線 千代田線 有楽町線 半蔵門線	一部の駅及び駅間	地震発生後の早期運行再開に向けた高架橋耐震補強工事 補強対象本数=約1236本 2017年度末時点補強完了数=1218本		
			ホーム転落防止対策	銀座線 上野駅、上野広小路駅、日本橋駅 東西線 九段下駅、竹橋駅、日本橋駅、東陽町駅、南砂町駅、妙典駅、西船橋駅 千代田線 根津駅、湯島駅、日比谷駅、国会議事堂前駅 半蔵門線 渋谷駅、三越前駅	転落防止ゴムの設置
			ホーム転落防止対策 視認性向上	銀座線 渋谷駅、虎ノ門駅、新橋駅 日比谷線 入谷駅、上野駅、茅場町駅、六本木駅 東西線 落合駅、神楽坂駅、飯田橋駅、大手町駅、日本橋駅、東陽町駅、南砂町駅、西船橋駅 千代田線 北千住駅、新御茶ノ水駅、大手町駅、乃木坂駅、表参道駅、明治神宮前駅 半蔵門線 永田町駅、半蔵門駅、大手町駅、三越前駅、清澄白河駅、押上駅	注意喚起シートの設置